

**ボッチャ競技 特別授業**

～ボッチャ競技体験を通して～

校種・学年		小学校・第1～5学年			教科等	総合的な学習の時間等
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	2～3時間3学期(1～2月)
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	マイク・ボッチャ競技ライン・ボッチャ競技用具

**1 プログラムのねらい**

- ボッチャ協会の方の話を通して、ボッチャ競技及びパラリンピックに関心をもたせる。
- ボッチャ競技の体験を通して、競技への理解を図る。

**2 プログラムと既存の学習との関わり**

○埼玉県ボッチャ協会の方に、競技について説明していただいた。その後、実際に国際大会に出場している選手にボッチャ競技を実演してもらい、児童に披露した。平成29年度は、その後で、実際に玉を転がす体験(ミニゲーム)を4,5年生の児童全員が行った。実際に行ったことで「力加減が難しい。」「もっと投げたい。」と児童の競技への関心が高まった。4年生においては事前の総合及び福祉学習から、障がい者スポーツとしてのボッチャ競技を知っている児童が多かった。平成30年度は体験日を3年生全クラスと1年生半分のクラス、2年生全クラスと1年生半分のクラスの2日間に分け、1～3年生の児童全員が体験(ミニゲーム)を行った。

**3 指導計画(1時間扱い)**

時間	主な学習活動・内容等
1	1 朝霞第八小学校の体育館にてボッチャ競技の説明及び選手の実演・ゲーム体験(本時) (平成29年度4・5年生各1時間、平成30年度1～3年生各2時間)

**4 本時の学習指導(本時 1/1)**

時間(分)	学習活動	支援・留意点等
15	○ボッチャ競技の説明を聞き、競技に関心をもつ。 ・埼玉県ボッチャ協会の方から、競技に関するルールやゲームの流れについて、選手の実演を交えて説明を聞く。	1 ゲーム5分程かかるので、時間配分に配慮する。1年生は上級生の体験を見学させてからゲームをさせると進め易い。
30	○ボッチャ競技を体験し、選手の思いや競技への姿勢を考える。 ・実際に競技を体験し、ゲームの流れから、選手がどのように競技に向かい合うか等を考える。	

**5 おすすめのポイント (さらに、効果アップ!)**

○ボッチャ競技の難しさを体験させるためにも、あえて事前に玉には触らせない方がよい。意外に見た目は重そうだが、力を加減して投げてもよく転がる。そういうところがボッチャの魅力の一つです、と協会の方は仰っていた。

